

【サクセス英訳英作文資料】

<不定詞と動名詞のちがい>

* to+不定詞の“to”は元来方向・方面を示す前置詞であるから、to+不定詞は、これからある行為をする、行動をとろう、もしくはある状態になろうという意志や意図・感情を示す動詞につく傾向があり、動詞的性格が強い。

* 動名詞はto+不定詞よりも名詞に近く、静的な感じで、現在あるいはこれまでに事実となっていること(=行為・状態の事実の存在)をどうこうするという動詞につく傾向がある。

(注) look forward to ~ing (～するのを楽しみにする) など、動名詞が未来のことを表すと感じる場合もあるが、これは「～している状態を思い描いて」と解釈することができる。

* to+不定詞の“to”が単に不定詞であることを示す記号としか感じられないことも多く、その場合には動名詞と不定詞の間にはそれほどの差はない。

なお、動詞には、

- ① to不定詞だけを目的語にとる動詞
 - ② 動名詞だけを目的語にとる動詞
 - ③ 動名詞と不定詞の両方を目的語にとる動詞
- がある。(☞ 裏面「英作文資料(2)」参照)

<動名詞と現在分詞のちがい>

* 意味上の違い

動名詞は修飾する名詞の目的や用途を表す。

A sleeping bag = a bag (used) for sleeping
(寝袋)

現在分詞は修飾する名詞の動作・状態を表し、その名詞は現在分詞の表す動作・状態の意味上の主語である。

A sleeping lion = a lion that is sleeping
(眠っているライオン)

* 発音上の違い

〈動名詞+名詞〉の場合は名詞には強勢を置かない。

a smoking room (喫煙室)

〈現在分詞+名詞〉の場合は名詞のほうにも強勢が置かれる。

a smoking chimney (煙を出している煙突)

* 〈動名詞+名詞〉の複合語の例

dining room (食堂)	hearing aid (補聴器)
reading glass (読書用拡大鏡)	sewing machine (ミシン)
visiting card (名刺)	waiting room (待合室)
writing desk (書き物机)	walking stick (杖)